

ごあいさつ



岐阜県建築士会
中津川支部長
高木 章

「中津川市にこんな施設があつたらいいな!」コンテストに応募をしていただいた小学生の皆さん、ありがとうございました。現在の中津川市は平成17年に長野県の山口村を含め7市町村が合併され、その間、様々な施設がつくられてきました。今回のコンテストでは、現在、中津川市に住む皆さんはもちろんのこと、リニア駅が出来てから中津川市に訪れたり、移住しようとする人にとって、「いいな!」と思える施設をたくさん描いてくれました。皆さんのが想い描いてくれた施設は、今後、本当に中津川市に出来るものもあるかもしれません。私たち建築士も皆さんのアイデアに負けないよう、中津川市が少しでも良くなる施設造りに貢献できるよう頑張りたいと思います。

関係者の皆様には、この度、沢山の方々のお力添えをいただき事業を進めることができたことに感謝を申し上げます。子供たちの豊かで感性溢れる作品がたくさん集まり、これからの中津川市に本当に必要な施設は大人目標よりも子供達の目標が大切ではないかと考えさせられました。

この事業は3ヵ年の継続事業としており、次年度は最終年度として「こんな町に住みたい」を予定しています。建築士会中津川支部は、これからも地域に貢献できる事業を続けていきたいと思います。今後の事業にも皆様のお力添えを、宜しくお願い致します。

コンテスト主旨

2027年にリニア中央新幹線が開業となり、中津川市には岐阜県駅が出来ます。名古屋～東京をわずか40分くらいで結ぶ夢の新幹線です。そこで中津川市は何を目指していくべきでしょうか?大都市の中間駅として、単なる郊外というだけでなく、日本の奥座敷としてのポテンシャル(可能性としての力)を以って地域の発展を目指さなければならないのではないかでしょうか。ただ、5年や10年ではまちは良くなりません。今後20年後のまちづくりのために、次代を担う小学生に、今からまちづくりに関心をもっていただくことが、未来のまちづくりにつながるものと考えます。

そこで、岐阜県建築士会 中津川支部は中津川市の建築のエキスパート集団として、小学生による「デザインコンテストによる住まいづくり・まちづくり学習」を主催し、中津川の伝統と次代のニーズに合ったまちづくりの実現を推進することを目的とします。

審査講評

中津川市内全小学校(18校)の3年生～6年生を対象に募集をしたところ、290点もの応募を頂きました。作品としては、水族館、中津川を紹介する「くり」の形の店、中津川の自然を生かした公園・遊園地・キャンプ場、リニア駅の駅ビル・ショッピングモールなど中津川にたくさんの人が来てもらえるような施設や、廃校の利用や空き家利用、子供とお年寄りが触れあえる施設など時代背景も考えられた作品もあり、多くの子供たちが中津川市を良くしたいと考えてくれたことに感銘を受けました。

社会生活を営むうえで、市民の生活を良くするために必要な「施設」という難しい課題であったにも関わらず、多くの力作がそろい、審査には大変苦慮しましたが、選考の基準としてアイデア、絵の描き方や出来栄え・説明文などを審査の対象とし、選考委員会により審査を行いました。沢山の作品がノミネートされた中、全作品をご紹介したいところですが、今回は入賞した作品のみ紹介させていただきます。



公益社団法人 岐阜県建築士会 中津川支部

〒500-8384 岐阜県岐阜市薮田南5丁目14-12

TEL:058-215-9361 FAX:058-215-9367

<https://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

E-mail:info@gifukenchikushikai.or.jp

中津川市に こんな施設があつたらいいな! コンテスト!!



主催:公益社団法人 岐阜県建築士会 中津川支部

後援:中津川市教育委員会・中津川商工会議所・(協)中津川建設協会